

# 2020年12月期第4四半期 決算説明会資料

---

株式会社アプリックス  
2021年3月8日

# 業績報告 (2020年度第4四半期)

売上高は前期比+301%増、すべての損益について9期ぶりの黒字化を達成。

(単位：百万円)

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
19年12月期 Q4累計実績(A)	843	▲182	▲187	▲218
20年12月期 Q4累計実績(B)	3,384	54	39	84
前期増減額 (B-A)	+2,540	+237	+227	+302
前期増減率 (%)	+301.2	-	-	-

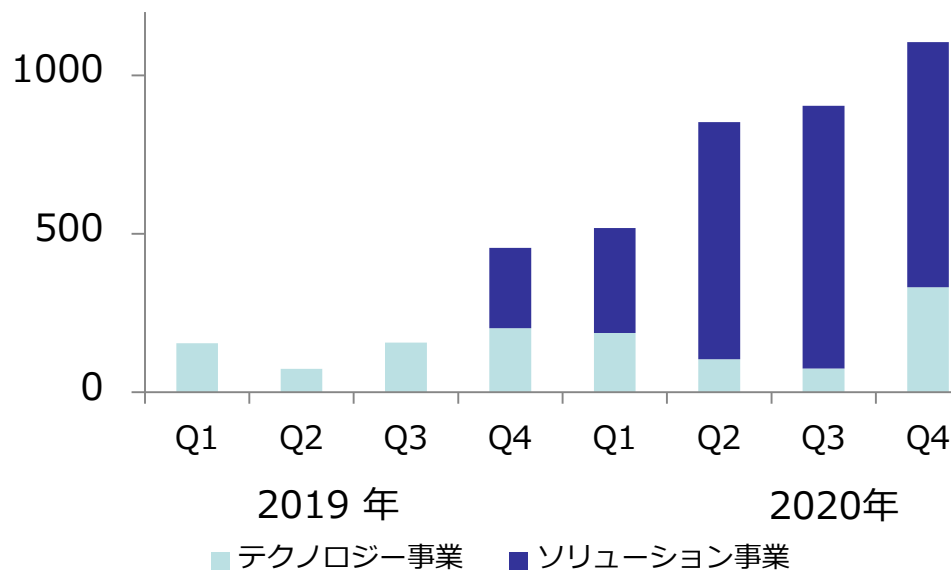
# 2020年12月期第4四半期 セグメント累計P/L



(単位：百万円)

(単位：百万円)	テクノロジー事業		ソリューション事業		全社費用
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
19年12月期 Q4 累計実績(A)	589	▲0.4	254	51	233
20年12月期 Q4 累計実績(B)	699	123	2,685	141	210
増減額 (B-A)	+110	+123	+2,430	+90	▲23
増減率 (%)	+18.7	—	+955.4	+175.7	▲10.0

単位：百万円



(単位：百万円)	2019年	2020年	増減率
	Q4	Q4	
テクノロジー事業	202	331	+64.0%
ソリューション事業	254	774	+204.5%
(売上高合計)	456	1,106	+142.2%
受注高	171	252	47.3%
受注残高	24	81	237.5%

## ▶ テクノロジー事業

売上高の主な増加要因は、受託開発案件や「MyBeaconシリーズ」等の製造販売が堅調に推移したこと等の理由によるもの。

## ▶ ソリューション事業

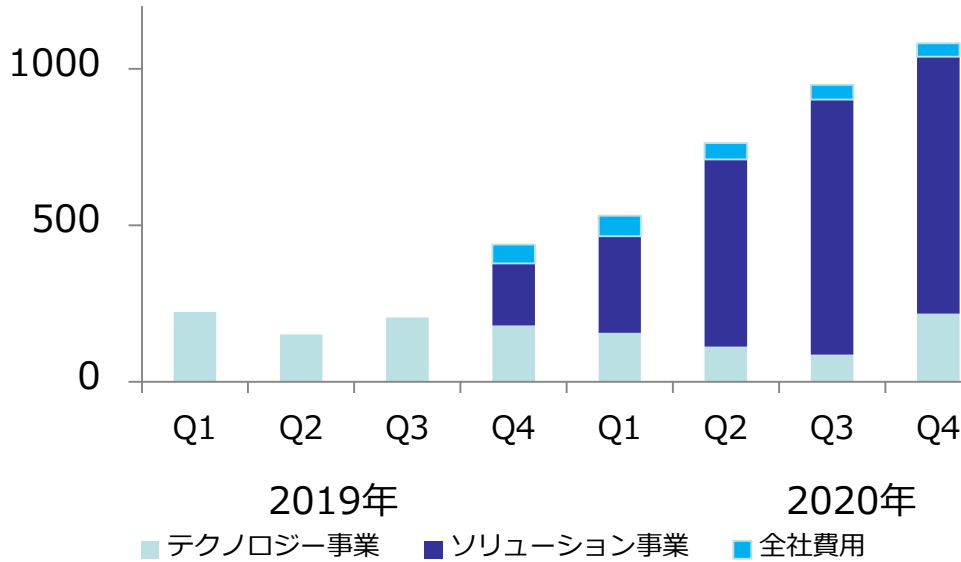
格安ケータイや格安SIMを自社ブランド「スマモバ」及びOEMで販売、また「THE WiFi」などのモバイルWiFiルーターサービスの拡販に注力。

# 2020年12月期第4四半期 営業費用推移



単位：百万円

(単位：百万円)



(単位：百万円)	2019年	2020年	増減率
	Q4	Q4	
テクノロジー事業	181	218	+ 20.5%
ソリューション事業	203	821	+ 304.7%
全社費用	61	42	▲ 30.8%
(営業費用合計)	445	1,082	+ 143.0%

- 前年同四半期と比較してソリューション事業に係る営業費用が増加した主な理由は、売上高の伸長に伴う回線・端末仕入原価の増加に加えて、通信速度等の品質を向上するための各種施策や顧客対応、新プラン提供に伴う広告宣伝費用の増加等によるもの。

# 当期（2021年度）業績の見通し

## 2021年12月期 連結業績予想



(単位：百万円)

	20年12月期 通期実績	21年12月期 通期業績予想	増減率	テクノロジー 事業	ソリューション 事業	全社費用
売上高	3,384	4,125	21.9%	643	3,481	—
営業費用	3,330	4,053	21.7%	446	3,387	220
営業利益	54	72	33.3%	197	94	▲220

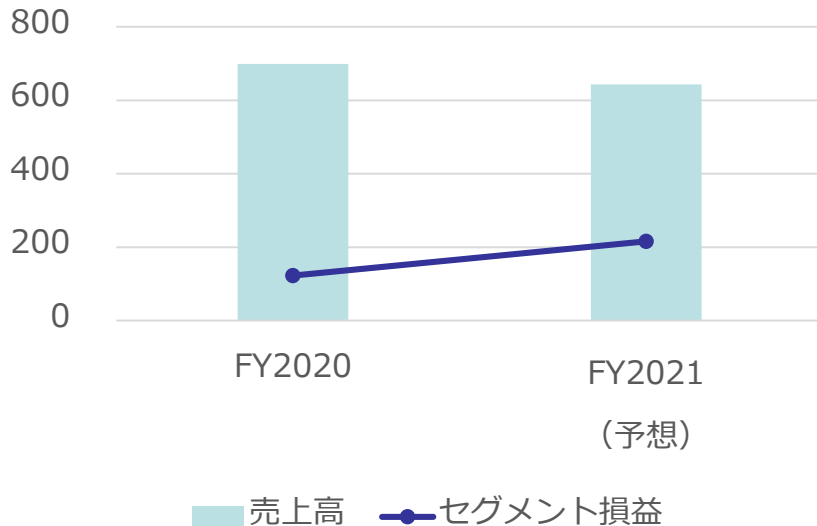
- ▶テクノロジー事業においては、組込み等のハードウェアからアプリケーション、クラウドのシステム開発・運用管理までワンストップで提供するIoTソリューションの製品及び機能・サービス面での強化・拡充を図る。
- ▶ソリューション事業においては、通信サービスを用いたストックビジネスに加えて、クラウドを用いたリカーリングモデルの新たなサービスを提供し、事業の拡充と収益の伸長を目指す。なおデータ通信サービスの比率増加及び新たなサービス立ち上げ等に伴う費用の増加により営業利益は減収見込。



# 2021年12月期セグメント別業績予想（テクノロジー事業）



(単位：百万円)



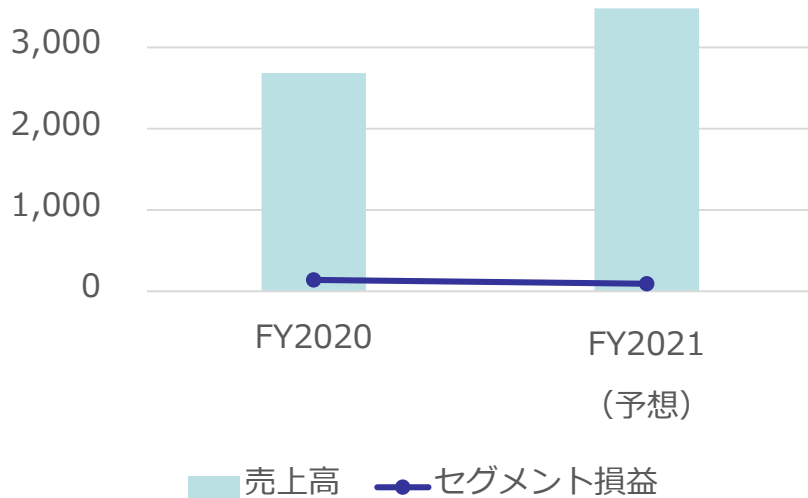
	2020年度	2021年度 (予想)	差異
売上高	699	643	▲56
営業費用	576	446	▲130
セグメント利益	123	197	+74

- 現状において当社の主な収益源となっているネスレ日本様等の受託開発案件規模を伸ばすとともに、ネスレ様以外の企業向け開発案件も積極的に獲得すべく、優秀な開発人材の採用・確保やプロジェクトマネジメントの強化等を行う。
- 「MyBeaconシリーズ」の機能拡張やラインナップの拡充、多様なデータを効率よく取得するセンシングシステムの開発など、IoTに必要な製品及び機能等の強化・拡充につき、戦略的パートナーシップも視野に入れて取り組むとともに、リカーリングビジネス化を推進する。
- 営業費用の減少は、社内リソース配分と外注費の最適化、収益性の向上を目的としたプロジェクトマネジメントの強化、継続的なコスト削減等によるもの。

# 2021年12月期セグメント別業績予想（ソリューション事業）



(単位：百万円)



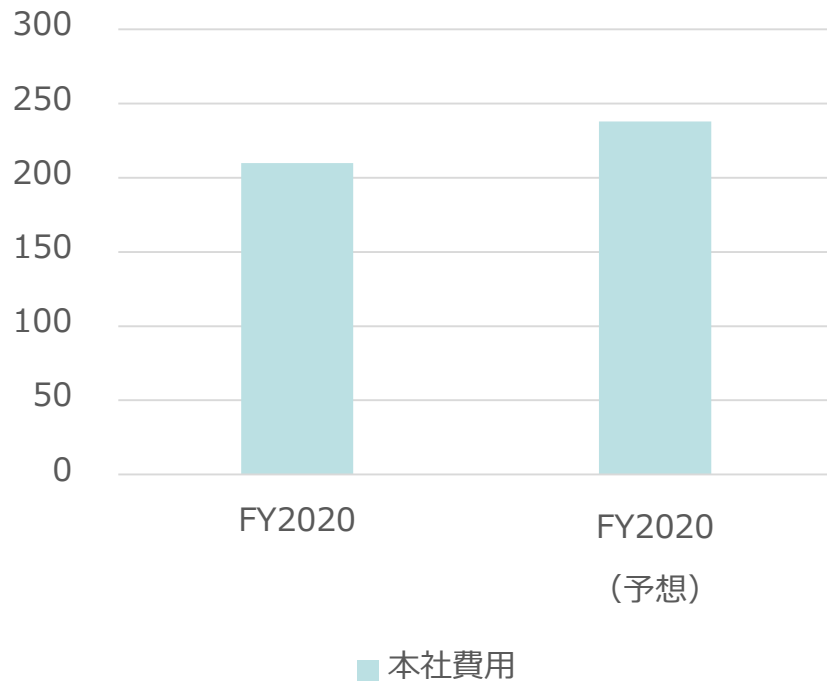
	2020年度	2021年度 (予想)	差異
売上高	2,685	3,481	+ 796
営業費用	2,543	3,387	+ 844
セグメント利益	141	94	▲ 47

- 主要な構成事業である連結子会社スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社（SMC）のMVNO事業を自社ブランド「スマモバ」及び他社ブランド（OEM提供）で展開するとともにモバイルWiFiルーター「THE WiFi」の拡販に引き続き注力。アプリックスの技術的知見を活用した法人向けIoTデータ通信サービス「unio」にも積極的に取り組み、収益獲得を目指す。
- クラウド関連事業やIoTを活かしたサービスを本格的に立ち上げ、リカーリングビジネスを収益の柱の一つに育てる。

## 2021年12月期セグメント別業績予想（本社費用）



（単位：百万円）



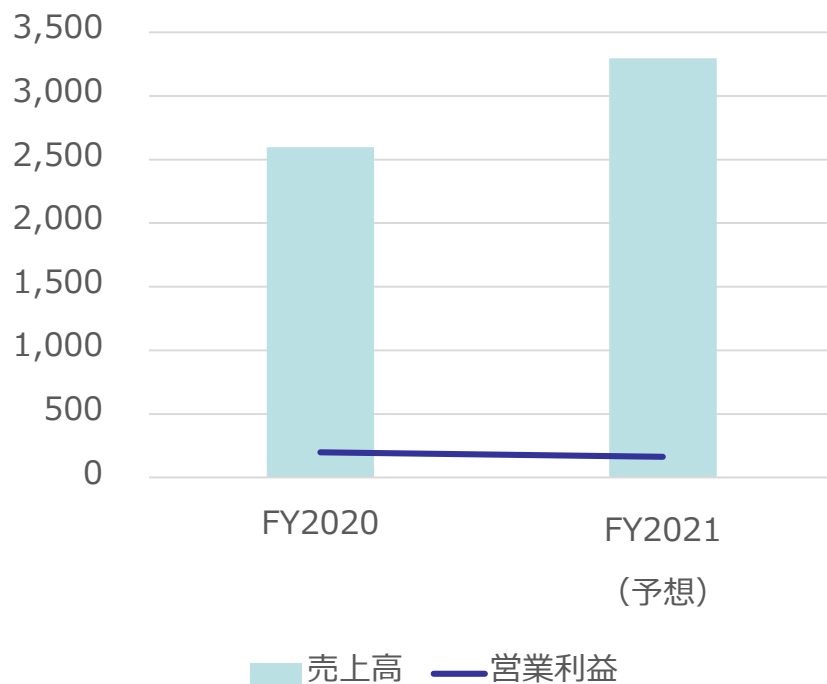
	2020年度	2021年度 (予想)	差異
営業費用	210	220	+10

- 前年度より増加する理由は、優秀な人材確保に要する人件費や採用活動費に伴い発生する費用の増加等によるもの。

## <ご参考> SMCの業績見通し



(単位：百万円)



	2020年度	2021年度 (予想)	差異
売上高	2,597	3,296	699
営業利益	198	162	▲36

2021年度SMC KPI	
新規獲得件数	69,600件
保有件数	130,437件

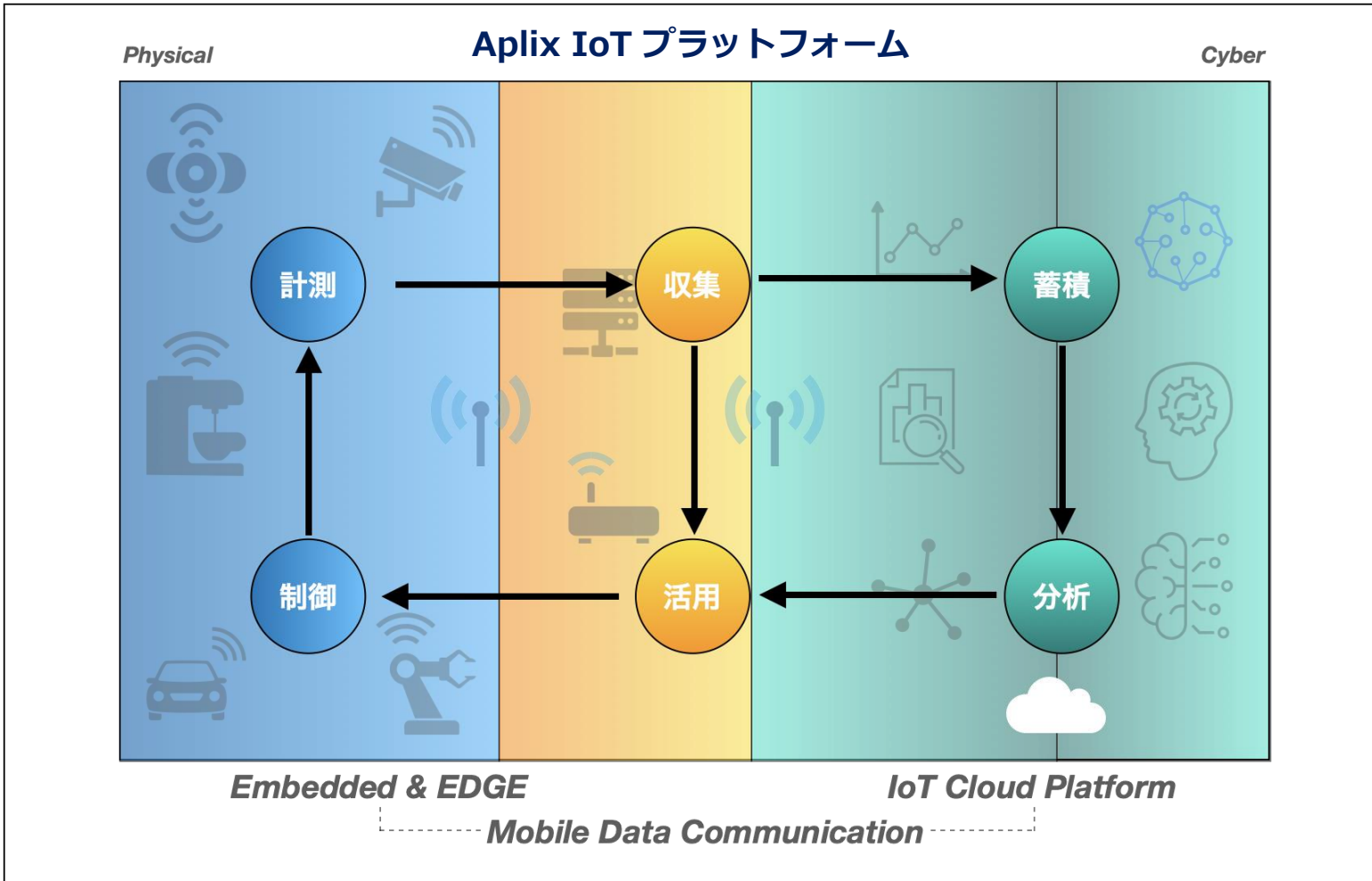
- テレワークやオンライン授業、動画視聴などのニーズに最適なクラウドWiFiルーター「THE WiFi」の販売、OEM・アライアンス販路による格安ケータイやSIMカードの販売を強化。
- アプリックスと連携し、法人向けIoTデータ通信サービス「unio (ユニオ)」や、スマートフォン等のケータイ以外の通信機器等と連携させた新たなサービスの拡販に注力。
- データ通信サービスの比率増加及び新たなサービス立ち上げ等に伴う費用の増加により営業利益は減収見込

# 今後の事業活動方針について

# IoTのライフサイクルを実現するAplix IoT プラットフォーム

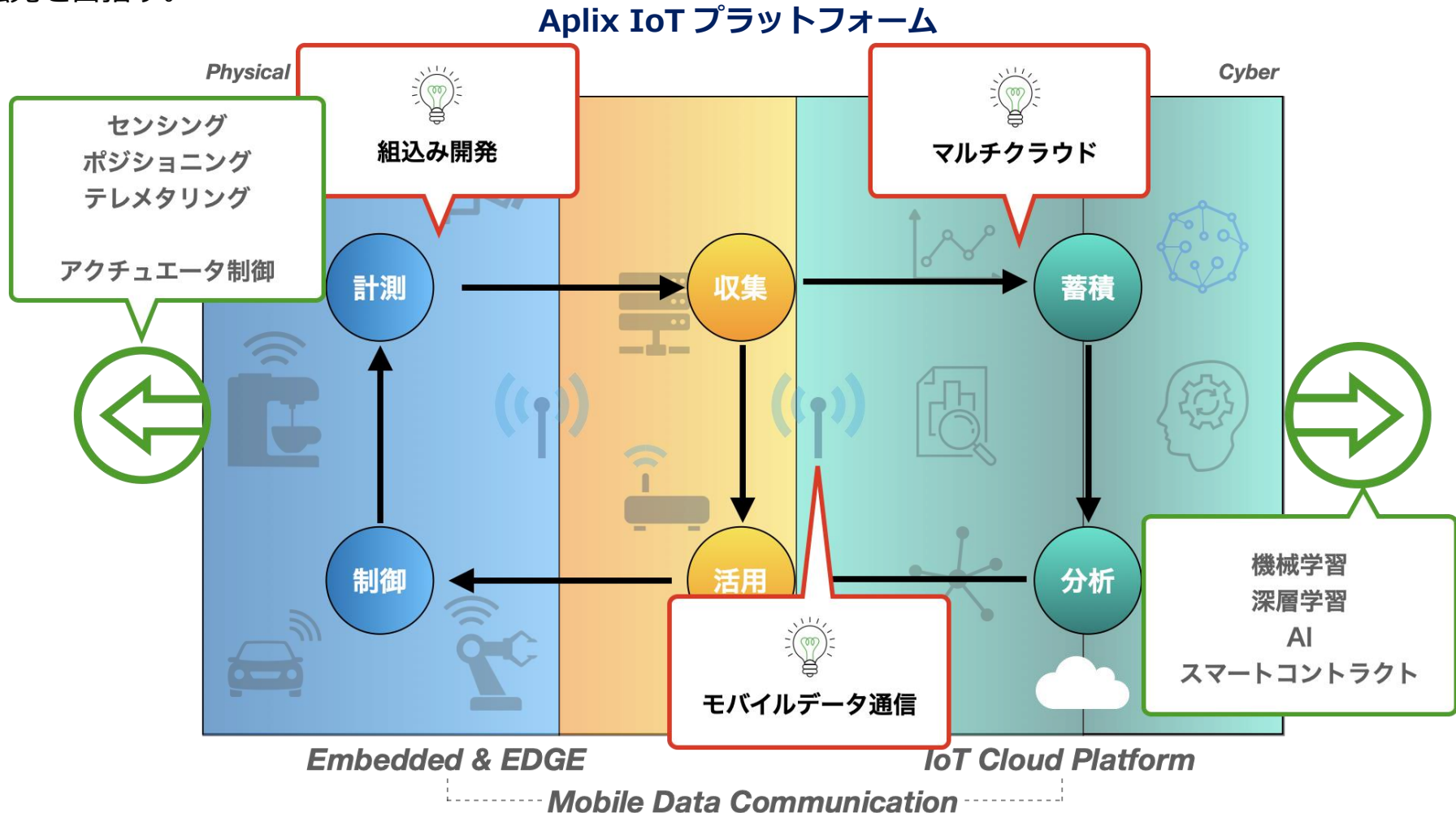


「組み込み&エッジ」「IoTクラウドプラットフォーム」それらをつなぐ「モバイルデータ通信」の3つの領域全体を新たに**Aplix IoT プラットフォーム**と定義。各領域における製品やサービス、技術等の強化、拡充を通じて、IoTのライフサイクル（計測→収集→蓄積→分析→活用→制御）を実現するベストプラクティスの提供を更に推進していく。



# 今後の強化・拡充ポイント

2021年度は「組み込み開発」「マルチクラウド」「モバイルデータ通信」における当社の優位性を更に向上させるための取り組みに注力する。また中長期的には、センシングやポジショニング等の「計測及び機器制御」、並びに「ブロックチェーンや機械学習・深層学習」など、Physical/Cyberそれぞれの領域で提供技術・サービス等の拡充を目指す。



前頁の施策等を通じて、アプリックスIoTプラットフォーム売上構成比率の増加を目指す。

## Aplix IoT プラットフォーム

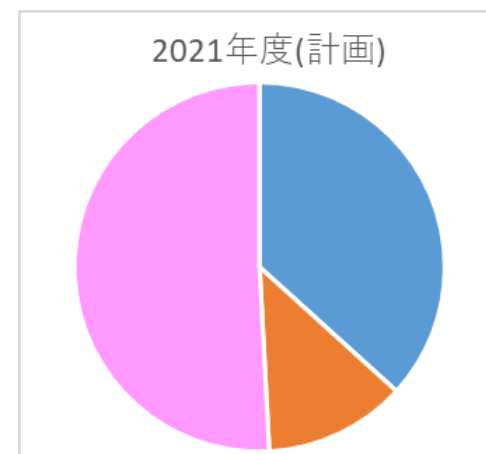
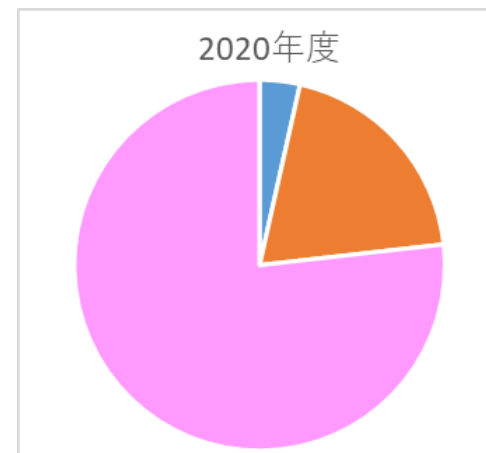
- アプリックスが提供する「組込み&エッジ」「IoT クラウドソリューション」「モバイルデータ通信」3つの領域の総称。
- アプリックスの技術・製品・サービス等により、IoTのライフサイクル実現のための「最適解」を提供。

## エンジニアリングサービス

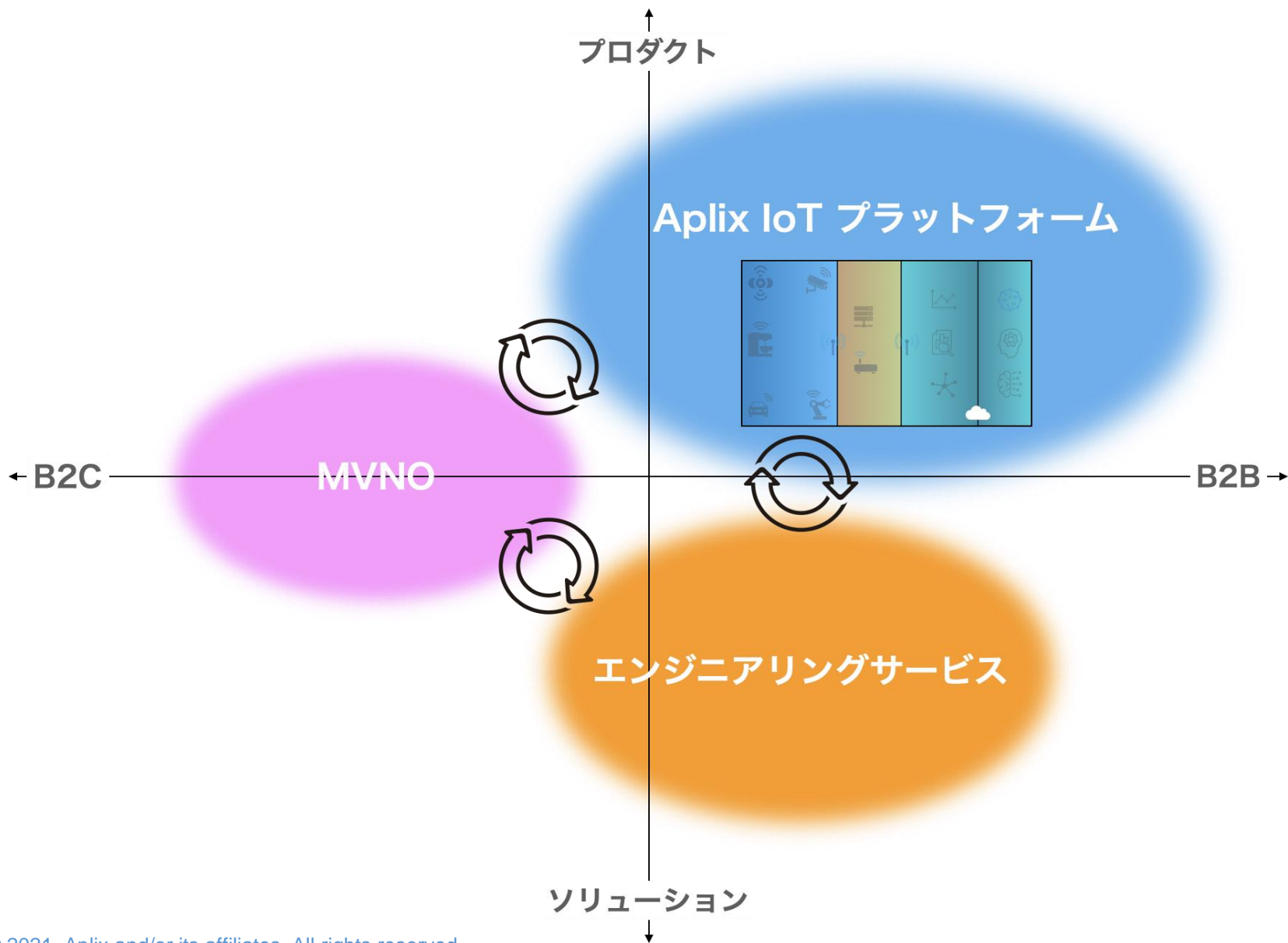
- Aplixが強みとする組込み&エッジからクラウドまでワンストップで開発できる技術を用いて顧客が実現したいサービスや仕組みを企業向けに実装。
- エンジニアリングサービスの経験で得た知見等を適宜Aplix IoT プラットフォームにフィードバックし、継続的な技術力の向上を図る。

## MVNO

- 格安ケータイ、格安SIMカード、大容量モバイルWiFiルーター等の販売と通信サービスを提供。
- 他のMVNO事業者等に対するOEMサービスを提供。







## 会社名

株式会社アプリックス  
[英文表記：Aplix Corporation]

## 本社所在地

〒160-0051  
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

## 設立年月日

1986年2月22日

## 資本金

2,443百万円 [2020年12月末現在]

## 売上高

3,384百万円（連結） [2020年12月期]

## 従業員数

45名（連結） [2020年12月末現在]

## マネジメント体制（2020年12月31日現在）

代表取締役社長	根本 忍
常務取締役	倉林 聡子
取締役（社外）	平松 庚三
取締役（社外）	田口 勉
常勤監査役	大西 完司
監査役（社外）	山田 奨
監査役（社外）	坂口 禎彦

執行役員	鳥越 洋輔
------	-------

オブザーバー	根木 勝彦
オブザーバー	石黒 邦宏
オブザーバー	曾根 卓朗

## 事業内容

テクノロジー事業  
ソリューション事業

## グループ会社

株式会社BEAMO  
スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社



株式会社アプリックス  
<https://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。